#1709

2023.03.17

第16回 アジア遠隔医療シンポジウム

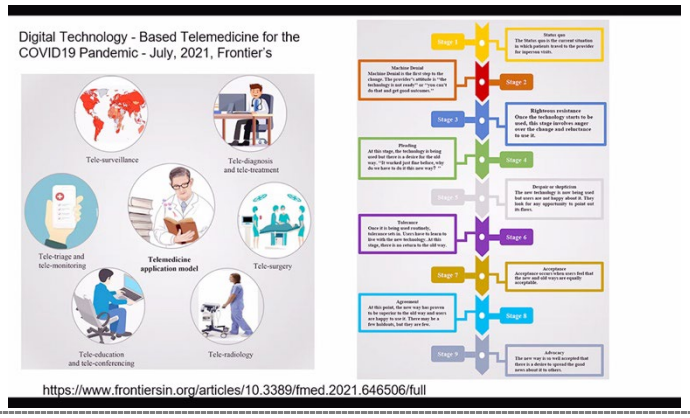
【 参　加　施　設 】	【 概　要 】
アジア消化器センター（インド），九州大学病院（日本），カトマンズモデル病院（ネパール），マラヤ大学（マレーシア），ビル&メリンダ・ゲイツ財団 インドオフィス（インド），バレー応急処置・職業医学センター（アメリカ合衆国），サウサンプトン大学（イギリス），BP コイララ健康科学大学（ネパール），メキシコ国立自治大学（メキシコ），広島大学（日本），スルチ訪問看護センター（ネパール），ネパール米国専門医センター（ネパール），ドゥリケル病院（ネパール）他 10 施設	第16回アジア遠隔医療シンポジウムは第３回ネパール遠隔医療ワークショップと同時開催され素晴らしい成功を収めた。遠隔医療における看護師の役割というテーマは参加者にとって目を見張るものだった。シンポジウムはハイブリッド形式で行われ、ネパール国内や国外からの発表があった。今後の政策介入に向けた提案で良い宣言を結ぶことができ、優れた経験共有の場となった。

メイン会場の様子

撮影場所：マリオット ホテル カトマンズ

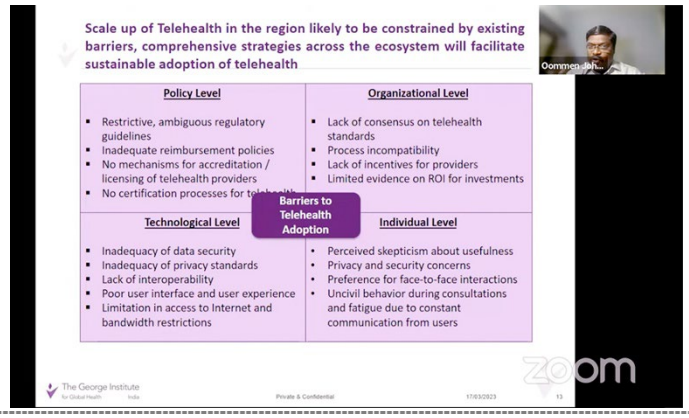
メイン会場の様子

撮影場所：マリオット ホテル カトマンズ



提示されたスライド

撮影場所：マリオット ホテル カトマンズ



提示されたスライド

撮影場所：マリオット ホテル カトマンズ

座長を務めるMs. Kudo(左)

撮影場所：マリオット ホテル カトマンズ

メイン会場での集合写真

撮影場所：マリオット ホテル カトマンズ